

津市南が丘中学校・杉本
順子先生

保健体育の教科指導のうち、特に保健分野で新聞記事を活用してきました。成長期のけが、ストレス、LGBT（性的少数者）など、授業で学んでから関連の記事を読めば、学んだ内



授業と暮らしを結ぶ

終わってしまおう内容ですが、高齢者の介護を扱った記事を使って説明したところ、主体的に深く学ぼうとする生徒たちの姿が見られました。「介護士さんの苦労が分かった」「祖父母をうとましく思う気持ちもあったが、もっと優しく接したいと思った」などの感想を書いてくれました。

今年も話題になった熱中症や台風などの自然災害。授業でその記事を読めば、最新情報やデータに触れられるのも大きなメリットです。過去の教訓も知ることができ、災害への備えについて知識や考えを深めるきっかけになると思います。

☆

保健体育の授業に新聞を活用する中学校教員がこれまでの実践を紹介します。

保健体育で活用したら ①

容が自分たちの暮らしと結び付くことを知る、生きた教材になるからです。高齢化社会について学んだ時のこと。教科書を読んだだけではどこか人ごとで